

総会報告

事務長 跡部 恵 一 朗

昭和50年度沼津高専同窓会総会は、高専祭初日の10月25日(土)に行われました。

週休2日制、隔週休2日制の普及も考え、遠方者にとって土曜日開催の方が出席しやすいだろうとの意図はほぼ満たされたものの、逆に近くの者は出席状況は余りよくないという結果が出ました。

同窓生126名、旧教職員3名、母校より樋口学校長を始め、多数の教官職員のご出席を戴き、総勢約180名で開かれました。

受付の一段落した午後1時10分、予定より10分遅れ、司会の小川君(E5)の開会の辞に始まり、議長団には、議長堀井君(M5)、副議長大沼君(E9)、書記近藤君(M8)が選出されました。

伊達同窓会長(M1)の挨拶の後、議事に入り、事務長跡部(M1)より昭和49年度会計報告がなされ、監事奥田君(M1)よりの監査報告があり圧倒的多数にて承認されました。続いて、伊達会長より昭和49年度業務報告、昭和50年度業務中間報告及び昭和50年度業務計画案が提案され、承認を受けました。昭和50年度予算案が事務長より説明され、承認を受けた後、来年4月以降の次期三役の選出が行われました。島村副会長(M1)より会長に白井君(M1)、副会長に久保田君(M2)、事務長に神山始桂君(E2)の各候補が推選され、満場一致で三君が夫々、選出されました。

次期三役の頼もしい(?)挨拶の後、島村副会長より同窓会役員紹介、顧問教官、顧問事務官の紹介があり、議長団の解任を経て、無事、閉会致しました。

同窓会総会にはつきものの雨も今年は、珍らしくどこかにとんで行ってしまったらしく秋晴れのもとで記念写真を撮ることができました。

テーブルの用意の出来たところで、谷城君(M3)の司会のもとに、懇親会に移り、同窓会名誉会長である樋口学校長の挨拶、そして、来賓の安土先生、深尾先生、渡辺裕さんの祝辞を戴きました。

久保田幸夫君(M1)の音頭で乾杯、歓談となりました。歓談中、朝比奈先生、庶務の坂本さんの挨拶を戴きました。

テーブルの上もあらかじめ片付いた3時半頃、元プラスバンド指揮者の近藤博明君(M8)の指揮で校歌斉唱、鈴木カツミ君(M1)の万才三唱にてめぐり、谷城君の閉会の辞で楽しい一時の幕を閉じました。

昭和49年度収支決算報告

収入の部

前年度繰越金	1,286,649円
現金	39,375
郵便振替貯金	16,225
銀行預金	1,231,049
会費(終身会費のみ)	2,220,000
受取利息	25,433
寄附金	5,100
小計	3,537,182
総会懇親会会計より繰入	53,635
合計	3,590,817

支出の部

会議費	89,031円
通信費	255,240
事務用品費	27,750
慶弔費	27,000
機関誌費(含同窓会だより)	393,000
雑費	10,000
新聞図書費	1,850
郵便振替手数料	6,950
印刷費	7,000
旅費交通費	1,570
什器備品購入費	6,000
未払金支払	3,500
総会懇親会会計へ繰出金	80,000
小計	908,891
次年度繰越金	2,681,926
現金	252,854
郵便振替貯金	693,050
銀行預金	1,736,022
合計	3,590,817

貸借対照表

昭和50年3月31日現在

資産の部		負債及び基金の部	
流動資産	8,301,926	流動負債	1,335,000
現金	252,854	未払金	10,000
郵便貯金	693,050	前受金	1,325,000
銀行預金	1,736,022	基金	6,982,179
未収金	5,620,000	基金	240,000
固定資産	15,253	固定資産基金	15,253
什器備品	15,253	減価償却引当金	12,247
		剰余金	6,714,679
合計	8,317,179	合計	8,317,179

監査報告書

厳正なる監査の結果、会計帳簿は正確かつ明確に記帳されており、収入・支出とも適正で、昭和49年度収支決算報告書及び貸借対照表の記載に相違がないことを認めます。

昭和50年4月20日

監事 奥田温一 ㊦
高橋 徹 ㊦

49年度業務報告

49年度の業務の報告を行います。

総会以前の分については昨年未発行した会誌4号で報告済です。主要な項目のみ列記します。

- 9月1日に同窓会だより第3号を発行しました。
- 総会及び懇親会を10月27日に母校学生寮食堂で開催し、会員と母校教職員の方々合せて約200名が出席しました。
- 会の財政状況を再検討し、十分な活動を行う為、会費の終身会費一本化及び値上げを行いました。

総会以後は以下の通りです。

- 会誌第4号を12月15日に発行しました。
この会誌には以下の内容の業務を含んでおります。
- 1 総会の報告
- 2 7,8期生の名簿追加
- 3 1~6期生の住所変更者の名簿追加。

この際、名簿の管理の必要上から各クラス別に名簿担当理事を選出し、その名簿を作成しました。

尚、役員一同不慣れの為、内容にミスが多く、関係の方方に不快な思いをさせた事を深くお詫び致します。

5. 愛知県支部が発足する事になりました。

1月18日に豊橋市でその発足の会が開かれ、本部から会長が出席しました。

その場で支部長にM1 田原君、副支部長にM2 板倉（旧姓中西）君をはじめとして各期から一名ずつの役員を選んで正式に支部として発足しました。

6. 新入会員に対する同窓会の説明会を2月18日母校武道館で開き、三役で説明を行ないました。

その場で9期の理事6名を決定しました。

7. 以上の業務を行う為、49年度中に理事会17回、編集委員会4回、三役の予備打合せ会多数を開き協議を行いました。

8. 49年度中に亡くなられた方は以下の通りです。

前名誉会長 土井静雄先生
E4 テニス部OB 小林正直君
E3 柔道部OB 長谷川進一君
M6 松岡孝彦君
C3 吹奏楽部OB 荻野禎浩君

50年度業務計画

今年度の業務は基本的には49年度と同じ路線を歩む事とし、主として以下の業務を行う予定です。

1. 発行物については

総会の議決事項を全会員に報告する為の同窓会だより第4号の発行と会員の投稿を主体として名簿関係も含めた会誌第5号の発行を行います。

2. 総会及び懇親会を母校高専祭開催中に行います。

3. 会員名簿の追加及び訂正を随時行って常に最新の名簿を本部に用意しておくようにします。

4. 支部の設立推進を継続して行います。

5. 来年度の卒業生に対する同窓会の説明会を行います。

50年度業務中間報告

今年度業務計画に対し、10月末迄の遂行状況を報告します。

1. 発行物について

昨年、の会誌4号発行の際は時間的余裕が少なかった為、内容に誤りの多いものになってしまいましたので今年度は総会前に充分、時間をかけ

て9月15日に発行しました。

2. 総会及び懇親会について

本年度は母校の高専祭が10月26、27日に開催されましたのでこれと時期を合わせ、26日(土)に開催しました。尚、土曜日を選んだのは遠方から来る会員、2次会その他諸々の便宜を計る為でしたが、その反面、勤務先が休みでない為出席できなかった会員も多かったようですので次回には再度検討したいと考えます。

3. 名簿の追加及び訂正について

今春、新たに9期生の会員が加わったのでこの名簿の追加と1～8期生の住所変更者を調査し、会誌5号に掲載しました。

その後の住所変更者や行方不明者は各クラスの名簿担当理事が機会あるごとにチェックして常に最新の名簿を保存するようにしています。

4. 支部の設立推進について

今年度になってから数回の理事会で具体的な計画について協議してきましたが、会誌或いは総会等に時間をとられて現在まで思うように進んでおりません。今後時間をかけて取組んでいきたいと考えております。

5. その他

今まで会員の慶弔見舞に関する規則が決められておらず、その都度理事会で金額等を決定していた為、対応が遅くなり統一を欠くという不便さがありました。この不便を解消し、公平を計る為、「慶弔見舞金に関する細則」を理事会にて協議決定しました。

昭和50年度 経費 収支予算書

拠出収入予算

終身会費	1,420,000円
受取利息	30,000
合 計	1,450,000

経費支出予算

会 議 費	70,000
通 信 費	160,000
事務用品費	30,000
慶 弔 費	50,000
同 窓 会 誌	350,000
同窓会だより	60,000
雑 費	30,000
郵便振替手数料	10,000
印 刷 費	90,000
旅費交通費	30,000
支部交付金	40,000
総会懇親会会計へ繰出	50,000
予 備 費	100,000
小 計	1,070,000
当期剰余金	380,000
合 計	1,450,000

昭和50年度予算について

事務長 跡部 恵 一朗

今年度予算書を見て気付いたことと思いますが、昭和49年度までの予算のたて方と変わっております。

同窓会の発展、活動の活発化に伴い、財政規模も大きくなり、財政状態をよりの確に掴む必要に迫られました。そこで従来の会計制度——官庁会計～単式簿記を昭和50年度より非営利会計～複式簿記に切替えました。

その年度の拠出収入をもってその年度の経費支出に当て、残金が出れば繰越剰余金に繰入れ、足りなければ繰越剰余金より引出して当てる—昭和50年度予算書を例にとれば、50年3月卒業生142名分の終身会費142万円のうち、3月31日までに前払いとして1,325,000円を受け取っており、もし、4月1日以降来年の3月31日までの間に残り95,000円の払込みがなくとも、経費収支の上では、拠出収入として142万円あったとして会計帳簿上、処理され経費支出との差額が未収金を含んだまま当年度剰余金として、繰越剰余金に加算されます。

ごく簡単に説明しましたが、以上の方法によって、予算統制、資金運用などに効果を上げられます。

昭和51及び52年度同窓会三役改選

現同窓会三役の任期が、昭和51年度3月で満了になるのに伴い、会則第5章第8条により、下記方々を理事会において選出し、昭和50年度の総会で満場一致の承認を得ましたので、昭和51年度及び52年度の2年間、活躍していただく事に成りました。新三役を中心にさらに一層同窓会の発展を推進する為に会員一同の多大なるご協力をお願いします。

記

会長 白井一夫 (M1)
副会長 久保田豊 (M2)
事務長 神山始佳 (E2)

同窓会顧問及び理事の新任者

顧問 M科教官 高橋敬治 (M9生)
〃 教務係長 中村幸男
理事 M3 谷城高明

次期会長を引受けるにあたって

M1 白井 一夫

来年は高専の卒業生が社会に出て10年目と同時に、同窓会も10周年を迎えるのだそうである。早いものだなと感ずるとともに友達顔や会話がつい昨日のこのように思い出されてなりません。沼津近辺の一期生は比較の出戻り者が多く、私もその一人であります。私は卒業後千葉県にある日立精機に入社、6年在職その後現在の東芝機械に転職しました。千葉の方におる時は同窓会誌をもらい、役員の方は大変だなあという位にしか感ぜず、何か一方通行的存在でしかありませんでした。しかし、今こうして母校の近くに帰ってみるとどうしてもその円の中心というか同窓会の運営を任される立場にならざるを得ませんでした。卒業生の皆さんの目が沼津を見ているんだなと思うと、リーダーシップに自信の持てない私には引受ける前から震えが出そうでありません。幸いなことに今迄理事を務めて下さった方や現在の三役の伊達、島村、跡部君達も全面的に協力することを約束してくれているので、なんとかなるだろうと希望的に祈願しています。聞くところによりますと高専の同窓会としては我が沼津は活発な活動をしている方だそうであります。これは今までの役員の方々、学校の関係者の方々の努力の結果だと思えます。来年の方針は理事の方々と良く話し合っ決めて決めることですが、支部を沢山つくる、円が一つでなく二つ三つと、円の集まりにまで成長すれば素晴らしいと思います。今迄と同様、いや今迄以上に会員の皆様相互の対話を期待します。

副会長の久保田君、事務長の神山君共々よろしく願います。

副会長を引き受けるにあたって

M2 久保田 豊

今年の10月のことでした。現会長から「次期三役をM2から一人選びたいが母校周辺の在住者でほかに適任者がいないのでどうしても次期副会長を引き受けて欲しい」と執拗に口説かれ、引き受けざるをえなくなりました。

簡単に自己紹介をします。

出身は静岡市の籠上中学で高専には1年間自宅から通い、その後はずっと下宿していました。

5年間卓球部に在籍して卓球だけはよくやったと思っています。

卒業後すぐに昌和製作所に就職し、現在は沼津工場の開発課でエンジンの設計をしています。

同窓会の運営に関しては全くの未経験者ですが引き受けたからには会長を助けて会を一層盛り上げるよう努力したいと考えています。

事務長就任にあたって

E2 神山 始佳

事務長という思いもよらぬ大役がまわって来て、果してわたくしにその任が勤まるかどうかという不安な気持ちです。

しかしながら、引受けた以上は任期の二年をわたくしなりに最善を尽くして勤める覚悟です。

どうか、よろしく願います。

'75 高専大会・高校野球 報告

東海地区高専大会(夏季)に引き続き、全国大会、秋季東海地区大会、及び高校野球静岡県大会が行われ、母校後輩は次に示すような戦績を残した。なお夏季東海地区高専大会の結果については第5号同窓会誌に記載してある。

全国大会には夏季東海地区大会を勝ち残った6クラブが出場した。団体の部では出場各クラブとも振わなかったが、個人の部で陸上の三段跳で高橋君が見事優勝し、一矢を報いた。柔道(重量級)では大須賀君が惜しくも4位となり、入賞は出来なかった。

秋季東海地区高専大会は3種目が行われ、ラグビーはあと一步のところまで優勝をのがしたが、硬式庭球、体操は沼津が健闘し優勝に輝いた。

高校野球県大会(3年生以下出場)は今年第1回戦目に強豪島田工と対戦したが、健闘むなしく敗れ去った。よく練習に励むクラブであるので来年に期待したい。

夏季と秋季東海地区高専大会とをみれば、結果からは沼津は団体の部で11種目中6種目の優勝というすばらしい戦績であったが、実際の内容はかなり苦戦してのものであり、全国大会では力不足でほとんど活躍出来ずに終わってしまった。「今年、東海地区大会でよかったから」と言って決して安心でき

るものではない。

我々卒業したOBも母校の学生が頑張っているということは嬉しいもので、いつまでも沼津強しという言葉聞きたいものである。我々も出来るだけ母校を尋ね、クラブのOB会や合宿に参加して、激励、叱責し、全国大会を制覇させるように応援しよう。

大会成績表

種目	成績		期日・会場
	種目	成績	
陸上	三段跳	優勝 高橋 (大会新14m26)	8月20日~22日 明石
	軟式庭球	予選リーグ敗退	
卓球	個人	1回戦敗退 (稲村・小栗組)	
	個人 (シングルス)	1回戦敗退 (吉田・稲葉)	
柔道	個人 重量級	4位 大須賀	
	個人 軽量級	予選リーグ敗退 (中田・武)	
サッカー	1回戦敗退		8月26日~29日 岐阜
ハンドボール	2回戦敗退		8月28日・29日 豊田

種目	順位	優勝	2位	3位	期日・会場
		優勝	2位	3位	
ラグビー		鳥羽	沼津	鈴鹿	10月10日・11日 岐阜
硬式庭球		沼津	鈴鹿	豊田	
体操	団体	沼津・鈴鹿	—	豊田	
	個人	床運動	木村(鈴) 大貫(沼)	—	寺本(豊)
		跳馬	寺本(豊)	木村(鈴)	大貫(沼)
高校野球静岡県大会		1回戦敗退 (対島田工業高校)			7月20日 静岡球場

秋の叙勲に母校名誉教授
近藤国臣先生が受章されました

去る11月3日の文化の日に「秋の叙勲」が発表され、母校の名誉教授、近藤国臣先生が「勲三等瑞宝章」をうけられました。

栄誉ある受章を心からお祝いいたしたいと思います。

近藤先生は昭和38年4月静岡大学から赴任され、一般科目の英語を担当、昭和47年定年で退職されるまで、一般科目の学科主任、教務主事などの大任をはたされてこられました。

現在は、聖徳学園岐阜教育大学に教授として奉職され、また母校の非常勤講師として毎週来校され、ますますお元氣にご活躍されております。

住所カード返送のお願い

9月に総会の出欠の返事を兼ねて住所カードを皆さんに送りましたが、まだ返送されていない方がいます。来年には新しい名簿を発行する予定ですが、この住所カードをもとにして作成しますので、まだ返送されていない方は変更の有無にかかわらず必ず返送して下さい。又、住所あるいは勤務先等、変更した場合はその都度必ず連絡して下さい。なお、その際は、卒業年月、学科、何期生か、勤務先の社名、部課名、電話番号、住所、郵便番号、本人の住所、電話番号、郵便番号を忘れずに記入して下さい。

現住所不明者

同窓会では来年度の業務として同窓生名簿の発行を予定しています。しかしながら、下記の方々の現住所が不明になっています。ご存知の人はお手数ですが同窓会までお知らせ下さい。

- M1 小木
- M2 青木、浅井、岡田、加藤(昌一)、加藤(昌弘)、久野、斉藤、辰野、中島、中山、村上、横尾
- M3 日向野、杉山
- M4 岩崎、小沢(広)、北川、串田、日吉、渡辺
- M5 飯高、伊沢、大森、小笠原、小野、小林、富井、藤田、水野、森崎、山内、山口、吉田
- M6 勝又、加藤(光)、亀井、榊原(伸)、鈴木、佐藤、夏目
- M7 秋田、岡田、落合、大長、早瀬、八木、山田
- M8 青木、栗野、内野、大竹、小林(龍)、杉田、鈴木(光)、平良、瀧口、田中、中野、西沢、服部、山本(薫)、米山、渡辺

- M9 なし
- E1 なし
- E2 帯金、川村、鈴木(春)、中野、長谷川(正)
- E3 植松、小沢、桑原、小杉、佐藤(忠)、鈴木(優)、原、三室、吉野
- E4 大畑、小林(章)、田代
- E5 杉山、田中、山川、渡辺
- E6 荒木、江間、大内、風間、小林、佐野、塩川、塩谷、杉本、日吉、前田、望月(邦)、山田(茂)
- E7 荻原、長谷川(為)、松野
- E8 なし
- E9 なし
- C1 なし
- C2 古性、松本
- C3 なし
- C4 なし
- C5 なし

昭和50年度同窓会総会懇親会会計決算報告

拠出収入	
総会費	50,000円(運営会計より繰入)
懇親会費	189,000円(1,500円×126名)
合計	239,000円
経費支出	
オードブル	150,000円(5,000円×30皿)
飲物	36,480円
役員用弁当	10,000円(400円×25個)
剰余金	42,520円
合計	239,000円

剰余金は運営会計へ繰入りました。

編集後記

次期三役も決まり、三役をはじめ役員一同ほっとしているところです。来年度は同窓会も十周年を迎える事になり、記念行事をあれこれ考えています。今後の会の運営に対するご意見やご要望がありましたら同窓会宛ご連絡下さい。